

平成 32 年度において使用する教科用図書を選定するための資料作成基準

第 1 分析調査の観点及び具体的視点

1 内容

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について
- (2) 思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について
- (3) 主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について
- (4) 教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について
- (5) 他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について

2 組織、配列、分量

- (1) 全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて
- (2) 季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて
- (3) 内容と分量のバランスについて

3 使用上の配慮や工夫

- (1) 分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について
- (2) 分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について
- (3) 目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について

第 2 分析結果のまとめ方

分析調査した事項を各教科書別、各観点別に列記するとともに、全体的、総合的にその特長を記述する。